

# トータル保険だより

## 2017年 6月号



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

《発行元》

有限会社トータル保険

平成 29 年 6 月 1 日 第 254 号

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田 69-28

TEL:0235-25-1315 FAX:0235-25-1064

URL: <http://total-hoken.net/>

### アザの神様

「ただいま！」玄関に弾んだ、いつも通りの大きな声がかかと思うと、ランドセルの音をたてながら、ダイニングを抜けて、鏡の前へ駆けより、そこに映った自分の顔をじつと見つめ、側にあつたティッシュに水をつけて左手で前髪を上げ、右手で幾度も額から頬にかけてぬぐっている。いつもの事である。私は胸を締めつけられる思いで、じわじわと涙があふれる。娘が生れた頃を思い出していた。可愛い赤ちゃんの顔の左まぶたと頬と眼に青いアザがあつた。近くの病院で診てもらうと、「これは消えません。いいじゃない、今頃は、皆さんアイシャドウをつけているもの」。医者はおつさりとして言ったが、私はやりきれない気持ちで家に帰り、自分の顔の左側に青黒いシャドーをべつたり付けて、商店街を歩いてみた。ジロジロ、ヒソヒソ、私の顔に注がれるいくつもの視線を痛いほど感じながら、さあ見たいなら、見ればいいと、私は居直っていた。娘は、これから先、こういう視線を浴びながらどんなふうになるか、葛藤を重ねて生きるだろうか。辛いに違いない。私と替わってあげることが出来れば、どんなに救われるか。嫌な事があつた時

は、私に当たって欲しい。辛い時は私も一緒に苦しもう。悲しい時は私も泣こう。私は心の中でそうつぶやきながら、声を出して泣いてしまったあの日。目がぼつちり丸顔の愛らしい娘だが、無情にもアザはほとんど大きくなつた。今日は、アザの事をきちんと話そう。娘の側に行くのと、ランドセルを背負つたまま、娘はまだアザのところを拭いていた。その日、私は娘に可哀想な神様の話をした。「生まれて来る何人かの赤ちゃんに、アザを付けなければならぬ神様がいてね。その神様は、『自分の体はアザだらけになつてもいいですから、赤ちゃんにアザを付けなくてもいいでしょうか』って、偉い神様にお願ひしました。そしたら『アザが付いても、強く、誰にでもやさしい心を持った赤ちゃんをさがしなさい』と、偉い神様に言われたんだって。アザの神様は、毎日毎日泣きながら、普通の人よりも強くやさしい心を持った赤ちゃんにアザを付けたんだって。そしてアザのある赤ちゃん達が笑つた時だけ、アザの神様も笑うことが出来るようになったんだって。だからA子は、誰よりも強い心とやさしい心を持つて生まれて来たのよ。さあ可哀想なアザの神様を笑わせてあげようね」涙と鼻水でぐちゃぐちゃの私。見上げている娘の目もぐちゃぐちゃでしたが、笑おうと必死でした。



暖かい心遣いに感謝します

城南町町内会

会長 高木正己さま

城南町町内会の基本方針に安全安心綺麗な町作りに歴代会長から引き継がれ、地域住民が健康で文化的な住み良い近隣社会をつくり、特に安心して生活できるように心がけ、少しでもお役に立つために、町内会行事での万が一の傷害事故等に少しでもお手伝い出来る仕組み作りに、首都圏での経験と地元での経験を大いに活用し、又町内会役員としての佐々木一広氏にお願いし、より身近かで心の通う対応をして頂ける彼らに期待してお任せしております。

今年度からお世話になつている町内会で少しでもお役に立てればと様々な会合に参加させて頂いておりますが、如何に地域から支えられて日常生活をしているかが分かりました。佐々木

★肌に油断大敵な季節到来

紫外線が気になる季節になりました。紫外線といえばやはり女性にとって大敵であるシミ・しわ対策。洗濯物を干したり、ちよつとした外出では日焼け止めもさぼりがちになってしまします。しかし、小さな対策こそが健康美肌へとつながっていきます。

★皮膚の紫外線対策

皮膚は強い日差しや紫外線、乾燥する空気にも影響を受けます。短時間で強い日差しを浴びると赤くヒリヒリとして炎症が起きますが、長年日光を浴び続けているとシミやしわだけでなく、良性、あるいは悪性の腫瘍が現れる場合があります。高齢者の皮膚に見られる皮膚の変化は加齢によるものばかりでなく、紫外線による慢性傷害の結果ともいわれています。

す。また、乾燥は、しわやたるみ、くすみの原因になりますので化粧水や乳液でこまめな「保湿」を行い、肌の力サつきを防ぎましょう。

★目の紫外線対策

紫外線のダメージによる目への影響は急性の角膜炎、白内障などがあります。角膜炎は、白目の充血、異物感、涙目となり痛みを感じることがあります。一方、白内障は、紫外線の他に加齢によるものが多く、目の中でレンズの役割をしている水晶体が濁るため、網膜まで光が届きにくく物が見えにくい状態となります。強い日差しと地面の照り返しで目のダメージは大きくなっています。外出時には、サングラスをかけて出かけることをおすすめします。



◆営業時間

朝9時から夜7時まで

◆お手伝いできること

- ・マネーセミナー講師
- ・家計の見直し
- ・ねんきん定期便活用方法
- ・遺産分割、相続アドバイス

◆主な資格

ファイナンシャルプランナー（AFP）  
損害保険トータルプランナー  
相続診断士  
住宅ローンアドバイザー  
公的保険アドバイザー



サラリーマン川柳

- ① マイナンバー 国より厳しい 妻管理
- ② 何作る？ 今では俺から 妻に聞く
- ③ まいにちが 修造だけに 励まされ
- ④ 下町が 見せた日本の 底力
- ⑤ 男より トイレを磨けと 妻が言う

日本全国三九、五五一句の中から選ばれた優秀100句。第29回サラ川を彩る傑作の数々をご紹介します。今回は5作をご紹介します。



ハッピーカフェ:暮らしとお金のミニ情報



シリーズ「老後貧乏を抜け出すための方程式」-③-  
年金だけでは暮らしていけない!?

生命保険文化センターは、旅行やレジャーなど、ゆとりある生活を送るには35.4万円が必要であるとするデータも発表しています。もし、老後にゆとりある生活を送ろうと思うと、前回の手取り18万円程度だと、一気に月の赤字が17万円に膨らんでしまいます。

よく老後には1億円が必要と言われていたりしていますが、ゆとりある生活を送るために必要な1か月の生活費を35.4万円とすると、約1億円となります。なるほど老後に1億円というのはウソではないことが実感できます。

でも、安心してください。老後のために1億円の準備ができなければ、老後貧乏なのか、下流老人なのかという決してそうではありません。

なぜならば、私たちの国には65歳から亡くなるまで高齢者の暮らしを一生支える国の保険、公的保険があります。これはどんなに寿命が延びようと、終身支払われる公的年金です。

公的保険アドバイザー 大川 淳

